



製作:市川南 共同製作:吉崎圭一 藤島ジュリーK. 大村英治 杉田成道 林誠 堀内大示 宮崎伸夫 広田勝己 松田誠司 板東浩二 吉川英作 田中祐介 安部順一 東実森夫 井戸義郎 忠田憲美 吉村康祐  
プロデューサー:上田太地 佐藤善宏 臼井真之介 製作担当:鈴木嘉弘 美術:原田満生 監督補佐:宮村敏正 撮影補佐:坂上宗義 録音:石寺健一 照明:宗賢次郎 装飾:佐原敦史  
編集:菊池智美 音響効果:佐々木英世 キャスティング:田端利江 殺陣:久世浩 馬術:砂田一彰 衣裳:大塚満 ヘアメイク:泉宏幸 床山:大村弘二  
製作:「散り椿」製作委員会 製作プロダクション:東宝映画 ドラゴンフライ 配給:東宝 ©2018「散り椿」製作委員会 TOHO

9月28日(金)全国公開

劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です  
www.eigakan.org  
0120-550098

監督・撮影 木村大作

あ つばき  
散り椿

岡田准一 西島秀俊 黒木華 池松壮亮 麻生久美子  
緒形直人 新井浩文 柳楽優弥 芳根京子 駿河太郎 渡辺大  
石橋蓮司 富司純子 奥田瑛二  
脚本 小泉堯史 原作 葉室麟「散り椿」(角川文庫刊) 音楽 加古隆

9月28日(金)全国公開





原作は、「蜩ノ記」で直木賞を受賞した葉室麟の名作「散り椿」(角川文庫)。朴訥で不器用だが、清廉に生きようとする侍たちの“凛とした生き様”、そして愛する女性のために命を懸けて闘う、“切なくも美しい愛の物語”をテーマに『雨あがる』(脚本:黒澤明)の小泉堯史が脚本に書き起こしました。監督・撮影は、これまでカメラマンとして数多くの映画賞を受賞し、初監督作となる『劔岳 点の記』(2009)では第33回日本アカデミー賞最優秀監督賞に輝いた木村大作。黒澤組の撮影

助手としてキャリアをスタートし映画人生60年目という節目の年に、初の時代劇に挑みました。全編ロケーションによって、観るものの心を揺さぶる力強い自然、美しい四季がフィルムに焼き付けられました。主演は、幅広い世代から絶大なる支持を受ける岡田准一。共演には西島秀俊、黒木華、池松壮亮、麻生久美子、富司純子、奥田瑛二ら日本を代表する豪華俳優陣が集結しました。日本映画界に新たな歴史を刻む“美しい時代劇”が今秋、公開を迎えます。

## 解説

## 物語

享保15年。かつて藩の不正を訴え出たが認められず、故郷・扇野藩を出た瓜生新兵衛(岡田准一)は、連れ添い続けた妻・篠(麻生久美子)が病に倒れた折、彼女から最期の願いを託される。「采女様を助けていただきたいのです……」と。采女(西島秀俊)とは、平山道場・四天王の一人で新兵衛にとって良き友であったが、二人には新兵衛の離郷に関わる大きな因縁があったのだ。篠の願いと藩の不正事件の真相を突き止めようと、故郷・扇野藩に戻った新兵衛。篠の妹・坂下里美(黒木華)と弟・藤吾(池松壮亮)は、戻ってきた新兵衛の真意に戸惑いながらも、凛とした彼の生き様にいつしか惹かれていくのだった。散り椿が咲き誇る春——ある確証を得た新兵衛は、采女と対峙することになる。そこで過去の不正事件の真相と、切なくも愛に溢れた妻の本当の想いを知ることになるのだった……。しかし、その裏では大きな力が新兵衛に迫っていた——。

## 登場人物

- 瓜生 新兵衛(岡田 准一)  
妻の願いを叶えるため帰郷した浪人  
平山道場・四天王の一人
- 采女(西島 秀俊)  
さかきばらうねめ  
扇野藩側用人 平山道場・四天王の一人
- 坂下 里美(黒木 華)  
新兵衛の妻・篠の妹
- 坂下 藤吾(池松 壮亮)  
新兵衛の妻・篠の弟
- 瓜生 篠(麻生 久美子)  
新兵衛の妻
- 篠原 三右衛門(緒形 直人)  
扇野藩馬廻組頭 平山道場・四天王の一人
- 宇野 十蔵(新井 浩文)  
扇野藩組頭
- 平山 十五郎(柳楽 優弥)  
平山道場・師範代
- 篠原 美鈴(芳根 京子)  
三右衛門の娘
- 坂下 源之進(駿河 太郎)  
扇野藩勘定方 平山道場・四天王の一人
- 千賀谷 政家(渡辺 大)  
扇野藩若殿
- 田中屋 惣兵衛(石橋 蓮司)  
扇野藩御用達の和紙問屋
- 榊原 滋野(富司 純子)  
采女の義理の母
- 石田 玄蕃(奥田 瑛二)  
扇野藩城代家老
- 散り椿  
(正式名称「五色八重散り椿」)  
花弁が一片一片散っていく、  
一木に白から紅まで様々に咲き分け  
艶やかである

開花時期＝三月下旬～四月中旬